
<三重県> (種別：学校) 三重県立あげぼの学園高等学校

推薦理由

該当校は、自然に恵まれている伊賀盆地の東北に位置し、教育目標を「主体的に考えて行動し、自分の道を自分で切り開き、社会に貢献することができる生徒の育成」とし、総合学科の特色ある4つの系列（「美容服飾系列」「製菓調理系列」「情報教養系列」「健康福祉系列」）で、「地域に学び、地域と共に、地域のためにできること」について取り組んでいる。また、該当校が所在する伊賀市が実施する「IGABITO育成事業」（地域の担い手としての若者を育成する事業）において、地域のPR活動や将来にわたりより良い伊賀を作る意識や行動力を培うためのシチズンシップ教育等に連携して取り組んでいる。令和元年度からは、三重県教育委員会の「地域課題解決型キャリア教育モデル構築事業」の指定を受け、多様な授業の中で、地域の文化・観光・伝統産業・食などを伝承していく人材を育てている。

1. 各学年での取組

1年次で学習する「産業社会と人間」では、学年の生徒全員が地域の企業、文化、歴史、伝統産業等についての知見が深まるよう、伊賀市総合政策課の職員から「地域の魅力」について講話を聞き、フィールドワークを行っている。生徒は地域の課題と考えられるテーマを決め、研究するとともにレポートにまとめている。また、「家庭基礎」では、伊賀組紐について、外部の講師による授業を通じて地域の観光・伝統産業について学ぶとともに、ネームストラップを作成することで、地域の伝統産業について理解を深め、地域に誇りを持つ人材を育てている。

2年次の「総合研究Ⅰ」では、外部講師の講話を聞き、まずは自分たちの身近な学校の魅力を考え、成果発表会で発表している。学年発表の場では各自が研究したことを動画にまとめ、自分自身の言葉で自信をもって発表することで、生徒の「表現する力」の育成を図っている。

3年次の「総合研究Ⅱ」では、生徒の出身市町（伊賀市、名張市、亀山市など）に協力を依頼し、自分の住む町について生徒自身が課題を見つけ、今後地域を盛り上げるために必要な方策について探究し、成果をまとめ発表している。

2. 各系列での取組

「製菓調理系列」では、2年次で学習する「フードデザイン」及び3年次の「製パン実習」「調理」で、地域の食文化を理解し、興味を持つことを目的に、地元食材を使用したパンやスープの商品開発、地域の大豆を使ったみそづくり、地域食材だけで作るお弁当の提案などを実施している。また、毎年、小学生とのお菓子やパン作りを通した交流授業を続けており好評を得ている。

「健康福祉系列」では、介護職員初任者研修の資格取得をめざして、地域の社会福祉協議会と連携した福祉施設への訪問や介護実習等を行い、地域の介護職員の担い手育成に取り組んでいる。また、2・3年次で学習する「スポーツレクリエーション」では、伊賀の魅力を発信するために、伊賀市の伝統文化である忍者にちなんだ体操「忍にん体操」について、伊賀市健康福祉課や忍にん体操普及協会の協力を得て、「忍にん体操高校生バージョン」を考案し、地域の保育所とオンラインでつなぎ、実演し交流している。

「美容服飾系列」では、地域の産物である米ぬかや菜種、芍薬などの自然成分にこだわった「美容ジェル」や「万能ソープ」「シャンプー」「トリートメント」の開発に地域の企業と連携して取り組んでいる。生徒の「コロナ禍で地域の役に立ちたい」という思いを形にして、「アルコールハンドジェル」の開発を行い、近隣の小・中・高等学校、幼稚園・保育所、市役所等に贈呈するなど地域に貢献している。また、近隣中学校への出前授業や地域の美容室へのインターンシップを通して、将来の地域を担う人材としての意識を育てている。

3. 取組の成果

地域の企業、文化、歴史、伝統産業等についての体験活動を通して、生徒の興味・関心が高まっており、地域を活性化させるために、自分たちでどのような取組ができるのか、自ら進んで地域の課題について考える姿が報告されている。次年度には、この取組をSNSなどを活用し、地域だけでなく地域外にも発信していく活動や同じ地域にある高等学校等と連携し、より地域の魅力発信につながる活動を検討している。